

活動団体名	北九州環境ビジネス推進会 (KICS)
所在地	北九州小倉北区域内1番1号 北九州市環境局 環境産業推進課内
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	これまで市内で培ってきた地域エネルギー産業、リサイクル産業、食品リサイクル産業等と、今後新たに産業創出や取組の推進が期待される企業との広域的な相互連携により、地域循環共生圏の自立分散、相互連携、循環・共生の概念を実装した北九州循環経済の構築を目指す。
地域の現状・課題	北九州エコタウンの整備が始まって20年以上が経過し、各リサイクル企業は事業の高度化に向けて個別に取り組んできたところである。ところが昨今の世界の脱炭素社会や脱プラスチックなどを含む循環経済構築に向けた潮流は、これまでの日本の循環型社会形成とは異なる方向で議論が進んでいる。このようなグローバルな環境問題解決への潮流を踏まえ、今後の北九州エコタウンの高度化及び地産地消のエネルギー利用、廃棄物の地域資源としての活用などを図っていく必要がある。
地域が持つ資源	<ul style="list-style-type: none"> • エコタウン立地企業を中心とした市内の循環産業 • 周辺地域の農業(自然循環)や関連循環産業(社会循環)との連携 • 産官学の連携、市民との連携
取組内容	<p>地域の現状・課題分析をもとに、地域循環共生圏づくりについての具体的な議論を進めるために、「北九州循環経済研究会」を2019年8月に発足させ、下記の内容について検討を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エコタウン立地企業を中心とした市内の循環産業(廃プラスチックリサイクル、食品リサイクル、再生可能エネルギーの創出)を核に、新たな取組や活動を取り込みながら、ビジョンの実装化を今後推進していく。 • また、新たな産業創出や既存のリサイクル産業の高度化、関連産業との連携や動静脈産業間の連携を図っていく必要がある。 • さらに、北九州市の強みでもある市民の参画による自然循環の取組や回収システムの構築など、北九州市と一緒に検討を進める必要がある。
地域循環共生圏を実践することで想定される効果	<p>(環境)食品廃棄物のリサイクル、有機系廃棄物のバイオガス化、マテリアル管理</p> <p>(経済)地産地消型のエネルギーシステムへの変換、エコ素材産業の誘致・創出、サービサイジング産業の創出</p> <p>(社会)地域循環共生圏の構築、市民力を核にしたリサイクル事業</p>





北九州循環経済研究会の様

北九州循環経済ビジョン (案)

「循環経済2.0」
互酬性のメカニズム

